

2026年3月4日  
イオン株式会社  
イオン北海道株式会社

## 4/1より「思い出のランドセルギフト」受付開始 アフガニスタンの子どもたちが学校へ通うきっかけづくりに役立ちます

イオンは「世界のより多くの子どもたちのために学習環境の充実を支援したい」という想いから、国際協力NGOジョイセフの支援活動「思い出のランドセルギフト」をイオンの店舗で実施します。4月1日（水）から4月30日（木）の期間中、道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」32店舗を含む、全国の「イオン」「イオンスタイル」など約410店舗にて、お客さまの使い終わったランドセルの寄付を受け付けます。



5回目の実施となる2025年は計8,623個のランドセルが集まりました。多くのお客さまのご理解とご協力をいただき、2026年も継続して実施いたします。

イオンが本プロジェクトを実施することに伴い、お客さまは使い終わったランドセルをお店にお持ちいただくことで、国際支援活動に参加いただけるようになります。ランドセルを寄付することで、国内情勢などの理由で教育の機会に恵まれない女子をはじめとするアフガニスタンの子どもたちが、学校へ通うきっかけづくりに役立ちます。

イオンは、子どもたちの「夢のある未来」を願って、これからもお客さまのご協力をいただきながら、さまざまな活動に取り組んでまいります。

### 【2026年の「思い出のランドセルギフトプロジェクト」概要】

実施期間：2026年4月1日（水）～2026年4月30日（木）

実施店舗：道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」32店舗を含む、  
「イオン」「イオンスタイル」など、全国約410店舗※1

承り場所：キッズ売場（店舗によってはサービスカウンターにて承ります。）

寄付対象品：使い終わったランドセル（メーカーや色は問いません）

※承り時にアフガニスタンまでランドセルを送る費用の一部として1個2,500円（非課税）をご負担いただきます。

※豚革を使用したもの（宗教上）や汚損・破損が激しいものは現地へお届けできない場合があります。

特設サイト：[https://www.aeonretail.jp/campaign/omoide\\_ransel/](https://www.aeonretail.jp/campaign/omoide_ransel/)

※1：一部実施しない店舗があります。

## ■ランドセルの寄付の流れ

- ① お客さまに使い終わったランドセルをイオンへお持ちいただきます。  
アフガニスタンまでランドセルを送る費用の一部として1個2,500円（非課税）をご負担いただきます。
- ② お預かりしたランドセルを、イオンの物流網を使いジョイセフの倉庫へ集め、検品・梱包してアフガニスタンに送ります。
- ③ 新入学、進級のタイミングの9月頃にアフガニスタンに届きます。贈られたランドセルは子どもたちが学校へ通うきっかけとして役立てられます。
- ④ 寄付の様子について、ジョイセフの「思い出のランドセルギフト」公式ホームページにて報告します。

<https://www.joicfp.or.jp/rand>

### 子どもたちの喜ぶ姿



写真提供：国際協力NGOジョイセフ

## ■イオンのランドセル寄付実績

2019年：1,500個寄付（イオン北海道：35個）

2022年：6,352個寄付（イオン北海道：147個）

2023年：10,980個寄付（イオン北海道：265個）

2024年：9,726個寄付（イオン北海道：225個）

2025年：8,623個寄付（イオン北海道：221個）

※：2020年は感染症の影響で中止、2021年はアフガニスタンの政変で中止

## ご参考

### ■国際協力NGOジョイセフと「思い出のランドセルギフト」について

ジョイセフは、世界の女性と女の子の命と健康を守る活動を行う日本生まれの国際協力NGOです。これまで半世紀以上にわたり、すべての人が健康で自分の意思で生き方を選択できる世界をめざして、基本的人権であるSRHR【性と生殖に関する健康と権利】を推進し、40を超える国と地域で、妊産婦死亡を減らすための支援、HIV/AIDSを含む性感染症の予防、SRHR推進のための啓発や教育、アドボカシーを行ってきました。2004年よりアフガニスタンの子どもたちの就学を支援する「思い出のランドセルギフト」事業を開始。日本で役目を終えたランドセルをアフガニスタンの小学校で配付し、特に教育へのアクセスが困難な女の子の小学校への就学を支援しています。

女性・選択できる世界を・ジョイセフ

JOICFP